

ご 挨拶

伊那弥生ヶ丘高等学校校長 安藤 貴幸

同窓会報発行をお喜び申し上げます。同窓会活動の柱の一つが世代を超えて会員相互の親睦を深めることではありますが、このたびの同窓会報発行により同窓会の活動が一步前進したのではないかと考えております。毎年総会やその後の懇親会の席で同窓生の皆様が学生時代を懐かしく思い出され、旧交を温められる様子を拝見しておりますが、同窓会報をとおして母校に寄せる思いやまたさまざまな形でご活躍の様子を多くのみなさまと共有することができるようになるのではないのでしょうか。また、弥生 100 年の移り変わりを実感し自分の学生時代への想いを強くされるのではないのでしょうか。

現在の伊那弥生ヶ丘高等学校の生徒、もっとも若い世代の同窓生ですがその活躍につきましては地元の新聞やテレビで紹介されておりますので関心を持っていただいていると思いますが、同窓会報によって一層詳しくその様子をご報告できる機会を与えていただけるのではないかと期待しております。

現在の伊那弥生ヶ丘高等学校は上伊那地域の進学校の一つとして評価されております。平成 21 年度の入学生は男子が女子を上回り、昭和 52 年の共学以来はじめてのこととなりました。男子中学生にとっても女子中学生にとっても入学したい高校の一つとなっております。こうした生徒の希望に応えることが伊那弥生ヶ丘高校に勤務するわれわれの大きな職務であり、その職責を果たしてまいりたいと思っております。

学習ばかりではなくクラブ活動、生徒会活動にも力を抜かずに取り組むという伝統は健在であり、多くの運動クラブが活発に活動しております。昨年度は男子ソフトボール部が全国大会に、女子走り幅跳びで女子がインターハイに出場するなどの活躍をしております。また学芸系のクラブでは器楽クラブが 3 年連続全国大会出場、また吹奏楽部、音楽部もレベルを上げており、大会でも好成績をおさめるなど音楽関係のクラブの躍進が目立ちます。また、華道部、茶道部といったクラブ活動を通じて日本的な美意識や立ち居振る舞いといった大切な日本文化を学んでいます。学芸系のクラブ活動の成果は弥生祭で発表されますのでぜひ多くの同窓生の方々に学校にお越しいただき生徒たちの活動をご覧になっていただきたいと願っております。

平成 23 年 10 月には同窓会、PTA そして学校の三者で創立百周年を祝い、新たな 100 年に向けて時代の要請に応えることのできる学校づくりの出発点にしたいと思っております。同窓生の皆様の母校への温かい想いと支援を大切に、伊那弥生ヶ丘高等学校の益々の発展に向けて邁進する所存でございます。皆様のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。